



ひとよし市議会だより



2013 第78号 平成25年11月15日

発行：熊本県人吉市議会/編集：議会報編集委員会

市のホームページでもご覧になれます。

http://www.city.hitoyoshi.lg.jp
E-mail gikai@city-hitoyoshi.lg.jp

【主な内容】

- P 2～4 … 各常任委員会・特別委員会報告
- P 5～7 … 一般質問
- P 8 …… 議案等の議決結果、請願・陳情等の議決結果

秋晴れの下、ふるさと歴史の広場にて
高齢者ふれあいスポーツ大会が行われ
ました。



平成25年9月定例会を9月3日から25日までの23日間の日程で開催しました

一般会計補正予算 3億6,763万6千円増額を承認 (補正後の予算総額 151億4,949万4千円)

国民健康保険事業特別会計	4億10万7千円増額し	総額 50億6,330万9千円
後期高齢者医療特別会計	1,038万5千円増額し	総額 4億9,359万4千円
介護保険特別会計	1億1,838万8千円増額し	総額 42億4,767万4千円
介護サービス事業特別会計	94万8千円増額し	総額 2,826万2千円
公共下水道事業特別会計	8,958万9千円増額し	総額 11億2,234万8千円
水道事業 収益的収入	30万5千円増額し	総額 5億4,178万2千円
収益的支出	78万2千円増額し	総額 4億9,332万円

人事案件

- ◎人吉市監査委員に篠崎國博氏を選任することについて
 - ◎人吉市教育委員会委員に宮山 惇氏を任命することについて
- いずれも全会一致で同意しました。

決算特別委員会を設置しました

9月定例会最終日に、平成24年度の決算を審査する決算特別委員会を設置しました。委員会は閉会中に審査を行い、12月定例会で結果を報告します。

委員長 田中 哲 **副委員長** 大塚 則男
委員 宮崎 保、高瀬 堅一、村口 隆、井上 光浩、三倉 美千子

総務文教委員会報告

- 委員長 豊永 貞夫 ●副委員長 村上 恵一
- 委員 犬童 利夫・田中 哲・仲村 勝治・永山 芳宏

職員の早期退職募集制度を整備

国家公務員退職手当法等の一部が改正され、これに準じて本市職員の早期退職募集制度の整備等を行うため、条例の一部が改正されます。これまでの定年前「10年から」を「15年から」に拡大するものです。

人吉市庁舎等移転建設審議会を設置

庁舎等の移転及び建設に関する重要事項を調査審議する人吉市庁舎等移転建設審議会が設置されます。平成25年度は建設位置に関して、26年度以降には規模及び機能に関して調査審議を行い、市長に答申されます。

人吉ICにトイレ設置へ

人吉ICトイレ整備工事で、トイレの上下水道接続と、トイレ内にベビーシートやベビーチェアなどを設置するための補正予算を承認しました。

自動体外式除細動器(AED)を増設

各小学校に自動体外式除細動器(AED)が現在1台ずつ配置されていますが、より万全を期するために、もう1台ずつ追加配置する補正予算を承認しました。

老朽化した学校施設などを改修

承認した補正予算の内容は、第二中学校の運動場外周フェンス、プールサイド、屋上防水や、人吉東小学校の階段手すり設置などの改修工事です。



第二中学校プールサイド

来年4月に長崎国体カヌー競技リハーサル大会

平成26年4月に球磨川で実施される長崎国体カヌー競技リハーサル大会の、スラローム特設コースを整備する補正予算を承認しました。リハーサル大会は、スラローム、ワイルドウォーターの2競技で、平成11年の熊本国体で使用された球磨川特設カヌー競技場を実施されます。



長崎国体カヌー競技場となる球磨川

厚生委員会報告

●委員長 笹山 欣悟 ●副委員長 高瀬 堅一
●委員 松岡 隼人・川野 精一・三倉 美千子・森口 勝之

人吉市健康と笑顔のまちづくり推進委員会 設置条例を制定

市民が健康と笑顔で暮らすためのまちづくりについて協議する機関を設置するため、地方自治法の規定により、新たに条例を制定するものです。人吉市健康増進計画・食育推進計画策定委員会、人吉市健康づくり推進協議会を統合して設置するものです。また、自らの健康は自ら守るという意識を高めていくための施策の協議も行うことになります。

スプリンクラー整備補助金に183万7千円

小規模多機能型居宅介護事業所「なごみの里」のスプリンクラー整備に対する県補助金です。ここに整備されると人吉市のグループホーム、小規模多機能型居宅介護施設には、全て設置されることになります。

かしらなし 頭無川雨水ポンプ場外壁改修工事に1,470万円

地域の元気臨時交付金を活用して、頭無川雨水ポン

プ場（温泉町）の外壁改修工事が実施されます。当施設は外壁の汚れが目立っており、また、ガラスブロックの破損が多いことから改修されるものです。



外壁改修が行われる頭無川雨水ポンプ場

適切な事務処理執行を要望

過年度分の生活保護費返還金40万1千円が、平成24年度分として誤って処理されたため、平成25年度分として適正に返還処理を行うものでありますが、①担当課における確認作業がきちんとされていない②誤り訂正の事務処理がきちんとされていないことから問題が発生したため、厚生委員会として、執行部に対して、適切な事務処理を行うよう要望しました。

経済建設委員会報告

●委員長 井上 光浩 ●副委員長 大塚 則男
●委員 宮崎 保・村口 隆・平田 清吉・西 信八郎

損害賠償請求の訴えの提起を承認

訴えの内容は、人吉市情報通信基盤整備工事に伴う光ケーブル架線自営柱101本の未納相当額835万5,838円及び利子を、工事請負業者へ請求するものです。委員から、勝訴の見込みはあるのかなど質疑が相次ぎました。今後も司法の場で明らかになる内容については説明責任を果たすよう執行部に要望し承認しました。

人吉産農産物ブランド化実証実験を実施

キクラゲの冬季菌床栽培の効率・効果を向上させるための実証実験委託料152万5千円を承認しました。実験の内容は、ビニールハウス2棟を利用し各500床の菌床を入れ、厚さ50mmの発泡スチロールで囲み、ストーブ等で加温し、断熱の効果、発生量等を調査するものです。委員からは、ぜひ成功させてほしいとの意見が出ております。

農林業振興・商工振興への補助金を承認

- ・人吉市クリせん定作業支援補助金 200万円
前年度に引き続き、栗の低樹高せん定を実施し、栗の品質向上と栗生産者の経営安定を支援する補助金です。

- ・ひとよし産業祭実行委員会補助金 237万5千円
ひとよし産業祭の過去3カ年の来場者数は、平成22年と23年は延べ2万人、平成24年は延べ1万6千人となっています。
- ・特定鳥獣適正管理事業報償費 400万円
シカによる農林産物の被害が急増していることから、シカの捕獲予定頭数を500頭から1,000頭へ増やしたことによる増額です。

市道補修工事、災害復旧工事などを承認

- ・南町地内第1号線外4路線、下林南願成寺線外2路線の道路改良工事 6,180万9千円
- ・蟹作川河川改修工事等 1,020万円
- ・大川間川外3河川の河川災害復旧工事等 536万8千円



補修及び樹種転換予定の下林南願成寺線（相良町）

市庁舎建設に関する特別委員会報告

●委員長 村上 恵一 ●副委員長 松岡 隼人
●委員 高瀬 堅一・井上 光浩・笹山 欣悟・西 信八郎
仲村 勝治・三倉 美千子・永山 芳宏

県内他市の庁舎建設の先進事例を視察

8月6日に、現在新市庁舎建設を進めている玉名市と山鹿市に行政視察を行いました。

玉名市

平成17年10月に1市3町で合併。平成18年度に基本構想を策定するなど段階的に進めていましたが、平成21年に市長選で、高額の事業費が争点になり、見直しを掲げた新市長が誕生。総事業費の削減を目標に市民代表者とともに有識者の意見を聞く検討委員会を立ち上げ、再検討を行い、建設費などを見直しました。平成25年7月に本体建築工事に着手し、平成26年12月の完成を目指しています。基本設計委託はプロポーザル方式、実施設計は競争入札、建築工事の発注方法は、単独でもJVでも可という条件付きの一般競争入札ということでした。

山鹿市

平成17年1月に1市4町が合併。「まちづくり三

法」の改正に伴い再検討した結果、合併協議で決められた3候補地すべてがほごになり、現庁舎の隣接地に建設することになりました。その後20年度に基本構想、21年度から基本設計、23年度に実施設計、設計業者はプロポーザル方式、工事業者は入札で決定、27年の9月末に完成を目指しています。建設計画に関する市民への周知方法などでは、執行部、議会、それから市民で三位一体のオール山鹿で進め、パブリックコメントや意見箱なども行われたようです。

また、9月4日に実質第6回となる特別委員会を開催し、2市の行政視察について意見を求めましたところ、2市ともに事業の財源の大半が合併特例債であり本市とは違う。本市の場合、今後のスケジュールを早めに示し、財源の確保もしつかりした計画で行ってほしいとの要望や、職員の駐車場確保のあり方や今後の交通体系についての意見が出されました。

治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 犬童 利夫
●委員 宮崎 保・村口 隆・大塚 則男・平田 清吉
豊永 貞夫・川野 精一・森口 勝之

球磨川水系の危険箇所、土砂災害危険箇所の現地確認を行う

第5回目となります今回は、球磨川水系重要水防箇所等について、執行部から概要説明を受け、その後現地視察を行いました。

概要説明では、球磨川水系で最も重要な箇所として重要水防箇所（Aランク）に指定されています、人吉市西間下町の球磨川左岸約70メートルの堤防が整備されていない区間について、常に豪雨等で川のはんらの危険があり、熊本県が平成13年度から約5年かけて工事を行いました中神町小柿の小柿川通常砂防事業について、国土交通省が平成24年度で設置した4カ所の河川監視カメラについて、球磨川水系重点排水樋管について説明を受けました。

次に、9月1日に災害が発生しました段塔町の市道大畑旧国道1号線、場所は国道221号線の藤懸橋の手前から加久藤方面に約50メートルほど行った

所ですが、この災害場所を急きょ日程に追加して現地視察を行いました。このほか、概要説明を受けました球磨川左岸の堤防が整備されていない区間、小柿川砂防ダム、中神町小柿に設置された河川監視カメラ、球磨川水系重点排水樋管であります中神町の大柿排水樋管、八久保排水樋管、笠場排水樋管、また温泉町の福川排水樋門、出水川排水樋管についてそれぞれ現地視察を行い、状況を確認したところです。

視察後委員から、段塔町の「市道大畑旧国道1号線」の災害については、市に対して早期の災害復旧を望む意見や、球磨川左岸の堤防が整備されていない区間については、国土交通省に対して早期の対策を望む意見がありました。また、温泉町の出水川の河川改修問題についても、熊本県に対して早期の対策を望む意見がありました。本特別委員会としてもそれらの意見を踏まえ、今後の活動に取り入れていくことを確認したところです。

むし歯予防について

外3点



松岡 隼人

問 本市子どもたちのむし歯は、全国平均、熊本県平均より多い。むし歯を減らすために、フッ化物洗口やフッ化物塗布は有効だと考えるが、本市の見解は。

答 保健センターでは、一歳八カ月、一歳二カ月の子どもを対象に、希望者にはフッ化物塗布を行っており、有効だと考えている。今後、保護者や関係者と協議しながら推進していく。

問 人吉球磨の周産期医療に関して、開業医の先生方が歳を重ねておられ、助産師の数も少なく、今後、人吉球磨でお産をしたくてもできない人も出てくる可能性もあると思うが、本市の見解は。

答 他地域では、出産難民も見られ、危機感を感じているが、早目に取り組みたい。

人・農地プランの

進捗状況について



西 信八郎

問 現在における人・農地プランの課題・問題とその対処策は。

答 一つ目に、農家の方々の人・農地プランへの理解度が低いことと、関係団体と協力しながら国・県の支援策の情報提供も含め周知を図りたい。二つ目に、農地に係るプランの策定ができていないことで、今後、農地の出し手、受け手、それぞれの意向の確認をしながら農地の集積等に係わるプランの策定をするため、集落へ情報提供をした。三つ目に、経営体の経営規模と労働力の関係で規模拡大の必要性が出てくることから、人材の育成など取り組みを助成する。

※その他、経営所得安定対策、情報環境の整備、公民連携を活用したインフラ保守について質問。

少子化対策の

取り組みは



大塚 則男

問 出産お祝いに地場産品、お米などを贈ったり出産後、ある一定期間までミルク代、おむつ代などの購入補助として商品券での助成はできないか。また二人目出産に対しても一定期間の現物支給、三人目に対しても二人目より上乗せした額の支給など、まずは、生活面への支援制度を充実させていくことが必要と考えるが、今後、取り組みができるのか。

答 提案いただいた助成制度については、農業・商業の活性化にもつながり、若い子育て世代の方にも喜ばれる魅力ある制度であると考え、庁舎移転費用などもあり財源確保が非常に厳しく新たな助成制度は考えていない。

子育て世代の

負担軽減について



笹山 欣悟

問 乳幼児医療費無料化の中学生までの年齢引き上げについて進捗状況はどうか。また、実施する意思はあるか。

答 実現に向けて協議を重ねており、財源確保と併せ、段階的にでも早期実現に向けて検討を続けていきたい。

問 マニフェストを実現するための財源確保についてはどう考えるか。

答 中学校まで無料化を実現すると、試算ではあと7千万円ぐらいかかる。それをどう確保するか非常に苦慮している。しかし、少しでもマニフェストの実現を果たしながら、健康で笑顔で暮らせるまちづくりの実現を進めていきたい。

鹿目の滝問題、
球磨焼酎問題



田中 哲

問 滝下の広場、雌滝へ行く遊歩道、それに平滝から雄滝を望めるように整備したら滝の魅力がアップすると思うが。河合又五郎屋敷跡の案内板は。「滝まつり」が住民の高齢化もあり重荷になっていると聞くと市への対応は。また、滝への取り付け道路を林道で開設できないか。

答 滝周辺整備と平滝の遊歩道整備について今後研究する。河合又五郎屋敷跡の案内板は町内と話し合っていく。「滝まつり」についても市の関わりを検討する。

問 球磨焼酎で乾杯を推進する条例制定への考えは。

答 球磨焼酎や独特の文化を守り継承していく観点からも条例化は必要。酒造組合や消費者、有識者、行政で今後研究していく。

いじめ対策、
体罰調査について



豊永 貞夫

問 いじめ対策推進法が9月28日に施行されるが、各学校に設置されている学校いじめ防止対策委員会と、教育委員会設置のいじめ対策サポートチームへの影響はあるのか。

答 いじめ対策推進法の内容と同様の組織になるため、影響は無い、今ある委員会も継続する。

問 今年2月に本市小中学校の児童、生徒及び保護者に対して実施した体罰に関するアンケート結果と、教育長の考えは。

答 体罰と判断される事案があり、県教育委員会から厳重注意を行うことの指示があった。体罰への見解として、人を育てるのが教育、社会全体で体罰に関してゼロを目指していかなければならないと感じている。

移動サービス、
生ごみ減量策の検討を



井上 光浩

問 交通体系における移動サービスについて道路運送法改正の動きがあるが、改正案が成立するならば本市も希望するべきでは。

答 県選出の国会議員及び県会議員団に道路運送法の改正を要望した。権限委譲、事務手続きの迅速化は地域の交通体系にとり、きめ細かな住民サービスにつながる移動サービスの実施にもつながる。

問 生ごみ処理に民間企業のノウハウを活用し生ごみ減量に取り組む考えは。

答 ごみの減量リサイクルに向けて、提案については、近隣市町村の実態調査を踏まえ、市の財政の負担と市民への負担をなるべくかけないよう今後、研究検討して進めたい。

県南フードバレー構想と
若者の定住促進



川野 精一

問 くまもと県南フードバレー構想は、人吉球磨の若者の雇用促進と定住促進につながるか。

答 構想の実現ができるならば、地場産業の発展や新規参入、企業誘致などで雇用が進み、地元産業の後継者や担い手となる若者の働く場が創出できる。よって、定住促進につながると考えている。

問 出水川の河川改修の現状は。

答 出水時に球磨川との合流部で発生する洪水を排水ポンプの増設で対応している現状。河川管理者の県によると、費用面から早急な改修は難しいとの回答だが、今後も粘り強く要望を行っていく。

※他に町内会館への災害時のテレビの設置について質問した。

小中学校の防災及び
特別警報について



犬童 利夫

問 小中学校の防災体制は。防火管理者を定め、災害の想定に応じた訓練を各学期に一回年間に三、四回実施している。

答 ※避難訓練等について、保護者や地域住民と連携した訓練を検討されるよう提案した。

問 特別警報が発表された場合、本市の対応と周知方法は。

答 本市に特別警報が発表された場合は、ただちに防災行政無線の一斉放送を行い、緊急速報メールなど複数の手段を使用して情報を伝達する。非常に危険な状態であり、「命を守るための行動をとること」が求められる。今後は、市民の行動のあり方について、市の広報等を活用し、具体的に分かりやすく、定期的に情報を発信し周知を図る。

防災行政無線について



村口 隆

問 運用開始後に、放送が聞こえづらい地域などはないのか。また、市民からの意見はあったか。

答 4月1日の運用開始から、町内会長をはじめとするさまざまな市民の皆様から多数の意見をいただいている。昨年度の整備においては、屋外スピーカーを設置できる条件として、避難所の敷地内ではなくてはならないという制限があり、現時点では確かに放送が聞きづらい地域がある。これらの聞き取りづらい地域については、今年度の第2期整備において屋外スピーカーを新たに25カ所に設置することにしている。

地方税財源の充実確保を求める意見書を
可決し、国や関係機関へ送付しました

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いています。

こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠です。このことから、次の2項目について国や関係機関へ意見書を送付しました。（項目のみ抜粋して掲載）

- 1 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について
- 2 地方税源の充実確保等について

【お詫び】

8月15日発行の議会だよりに誤って記載した内容がありましたので、次のとおり訂正してお詫び申し上げます。
9ページ、人事案件の教育委員会委員の任命同意について

（正）教育委員会委員 尾方 篤氏
（誤）教育委員会委員 末次美代氏

編集後記

市議会だより第78号をお届けします。例年になく厳しい暑さが続いた今年の夏、市民の皆様方も体調管理などで大変な思いをされたのではないのでしょうか。

一転、猛暑に続く実りの季節となり、今年も多く恵みを私達に与えてくれました。それら恵みに感謝すべく、私達郷土の誇りとする青井阿蘇神社おくんち祭りや産業祭も盛大に執り行なわれ、故郷への思いと絆を新たにされたのではないのでしょうか。

歴史ある大地と大自然に生かされながらの日々の暮しに心から感謝するとともに、市民の皆様方の暮しが安心と安全の上に成り立ち続きますように、議員一丸となって人吉市のまちづくりに努めてまいりたいと思います。

（文責 平田清吉）

【議会報編集委員会】

委員長／永山芳宏
副委員長／森口勝之
委員 員／村口 隆 平田清吉
松岡隼人 村上恵一
田中 哲 三倉美千子

次の定例会は12月です。

平成25年9月定例会の議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果
議第71号	平成25年度人吉市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議第72号	平成25年度人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第73号	平成25年度人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議第74号	平成25年度人吉市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第75号	平成25年度人吉市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第76号	平成25年度人吉市水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議第77号	平成25年度人吉市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第78号	平成24年度人吉市水道事業特別会計決算の認定について	継続審査
議第79号	人吉市職員の退職手当の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第80号	人吉市職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	原案可決
議第81号	人吉市庁舎等移転建設審議会設置条例の制定について	原案可決
議第82号	人吉市健康と笑顔のまちづくり推進委員会設置条例の制定について	原案可決
議第83号	訴えの提起について	原案可決
議第84号	財産の取得について	原案可決
議第85号	財産の取得について	原案可決
議第86号	損害の賠償について	原案可決
議第87号	損害の賠償について	原案可決
議第88号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意
議第89号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意
議第90号	平成24年度人吉市歳入歳出決算認定について	継続審査

請願・陳情等の議決結果

付託委員会	件 名	議決結果
厚生	「年金2.5%削減法」を廃止する意見書採択に関する陳情	不採択
厚生	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情	継続審査
経済建設	市道中神地内第8号線道路拡張についての陳情	継続審査

～議会報告会及び意見交換会開催のお知らせ～

日 時：平成26年1月24日（金）午後7時

場 所：カルチャーパレス（第2会議室）

大畑コミュニティセンター

2会場での同時開催となります。

どなたでもお気軽にご参加ください。

